



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 35 号

平成24年1月1日（年1回発行）

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 桶川市青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習スポーツ課

☎728-4111

✉shogai@city.okegawa.lg.jp

家族の宝を輝く未来へ ～市民大会講演会より～



皆さんは自分のお子さんに何を望むでしょうか。

笹島先生は生まれてすぐに亡くなった子のお話をしながら「生きてるだけで百点満点、生まれてきただけでとても幸せなこと」とおっしゃいました。「全ての子どもは幸せになるためにけに生まれてきます」

子どもの幸せを願わない親はいないでしょう。そのために私たちは何をすればよいのでしょうか。それはまずしっかりと子ども向き合うこと。そして子どもの話を聞き、アドバイスも批判もせずにその思いをきちんと受け止めること。子ども心に寄り添い、子どもの心の欲求を満たしてあげること。子どもの心の欲求とは、愛されたい、認められたいという気持ちです。この欲求が満たされないとき、子どもの心身に問題が出てきてしまいます。中学

生までの子どもの問題行動は、実は子どもに愛情を注げない状態になっている親の問題なのです。

子どもが育っていく道で時にはつまずいたり、転んだりすることもありますが、それでも親の愛情が子どもに伝わってあげれば大丈夫。子どもは力を得て立ち上がり、自分で道を切り開いていきます。もし間違ったこと、悪いことをしたら、そのときはしっかりと子どもと向き合い、子どもの目を見て、真剣に一度とやっつけてはいけないと伝えること。「大好きな親が涙を浮かべて伝えれば、必ず伝わります。」

こうして豊かな心を持ち、社会適応できる人間に育てることが子育ての最終目標です。

「子どもは学校や地域の中で成長していきます。その中に問題行動のあるお子さんがいれば、自然に影響を受けます。ですから、自分の子どもだけでなく、周りの子どもにも声をかけ、ほめたり、励ましたりしてあげてください。そうすれば思春期の難しい時期に差しかかっても、自分に声をかけてくれていたおじさん、おばさんの言うことなら聞きますよ。」

しんと静まり返った会場は、親をはじめ、子ども会やスポーツ少年団等で子どもの成長にかかわっている方はかり。皆さん真剣に聞き入っていました。これからの指針にもなり、励ましにもなったのではないのでしょうか。

（江）

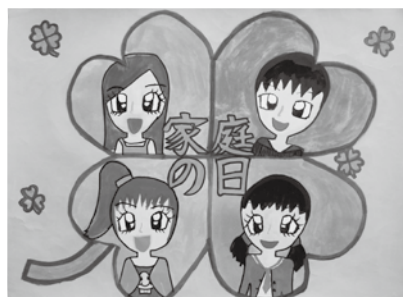
『家庭の日』 ポスターコンクール 優秀賞作品



家族とのつながり
長田ひかり（桶川中学校1年）



家庭の日
本木 陽菜（加納中学校2年）



幸せ家族 三村 莉杏（川田谷小学校5年）



家庭の日はバスに乗って出かけたいな
府川 智洋（桶川小学校6年）

第二十四回 桶川市青少年健全育成市民大会

平成二十三年十一月二十七日
 (日) 桶川東公民館大ホールにおいて、
 「第二十四回桶川市青少年健全



育成市民大会」が開催されました。
 開会行事に続き、青少年育成アドバイザー・保護司の笹島千代子先生による講演がありました。その後、「青少年育成成功労賞」「善行賞」の表彰が行われ、さらに、市内の小・中学生が夏休み中に取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクール入賞者の表彰及び作文コンクール優秀作品の朗読が行われました。
 講演や作文の朗読を通して、家族の愛情や助け合いの大切さを実感する大会となりました。(小)

青少年育成埼玉県民会議会長より表彰

十一月二十四日(木) 青少年育成埼玉県民会議の表彰式が知事公館において行われ、桶川市青少年健全育成市民会議会長の辻本健次郎氏が青少年育成功労賞を受賞し、県民会議会長である上田知事から表彰されました。



未来を担う私たちの主張大会で表彰

九月十日(土)、埼玉県等が主催する「未来を担う私たちの主張(青少年の主張大会)」が開催され、加納小六年の住吉舞羽さんが、小学生の部一万二千七百十一名もの応募の中から、優良賞(三名)に選出されました。



青少年健全育成成功労賞表彰

- 桶川市スポーツ少年団 岩崎 尚
- 桶川地区更生保護女性会 金子 久江
- 鴻巣地区保護司会桶川支部 清水 澄兄
- 桶川カインアルスポーツ少年団 鈴木 健郎
- 桶川市区長会 鈴木麻理子・榎本 薫
- 桶川市子ども会育成連絡協議会 千葉素乃子
- 桶川サッカースポーツ少年団 長瀬 浩二
- 桶川中学校PTA 野口由美子
- 桶川イギリススポーツ少年団 嶋貝 浩一
- ！K.O.剛柔流空道桶川空道連合 藤井 里美
- 桶川北ミニバスケットクラブ 宗像 秀子
- 川田谷ヘアースポーツ少年団 安川 永二
- 桶川西中学校PTA 綿貫 憲次



善行賞表彰

埼玉県立桶川高等学校
 女子バスケットボール部



「家庭の日」ポスターコンクール

- 優秀賞
- 家庭の日はバスに乗って 出かけたいな 桶川小学校 府川 智洋
 - 幸せ家族 川田谷小学校 三村 莉杏
 - 家庭の日 加納中学校 本木 陽菜
 - 家族とのつながり 桶川中学校 長田ひかり
- 優良賞
- 家族の絆 桶川西小学校 斉藤希美香
 - 家族の笑顔 桶川西小学校 印南 真穂
 - 明るい家族の笑顔 桶川西小学校 玉地 緑
 - 家庭の日 加納中学校 柄島 未帆
 - 家庭の日 加納中学校 岩崎 桃香
 - 家族一緒の楽しい食事 桶川西中学校 矢澤 真友



「私たちの主張」作文コンクール

- 優秀賞
- 東日本大震災から平和を考える 川田谷小学校 根岸 由梨
 - 節約でつかむ未来 桶川東小学校 阿部なな子
 - 一歩一歩前へ... 加納中学校 斉藤 束紗
 - ソマリアの人々に「希望」を 加納中学校 高橋 美晴
- 優良賞
- 私のがんばっていること 加納小学校 門馬 杏美
 - 私があこがれる職業 桶川小学校 小川 千尋
 - 私が思うこと 桶川東小学校 菱沼 野花
 - 努力の天才 桶川西中学校 永峰 若菜
 - 努力 桶川西中学校 永峰 穂果
 - 私があこがれること 加納中学校 大淵 成美



※敬称略

桶川市青少年健全育成市民会議年間事業

平成二十三年度

桶川市青少年健全育成市民会議総会

五月十四日(土)、桶川東公民館大ホールにおいて、今年度の総会が行われました。総会後、NPO法人青少年メディア研究協会理事、下田真理子先生をお迎えし、『地域で 家庭で 青少年を守っていくために ネット遊びの現状と大人の役割』という演題でケータイ、インターネットの危険性と大人の役割について講演をしていただきました。(河)



おかげわ 春のふれあいフェスタ



のかき氷がすぐに完売する程の暑い暑い夏日となりました。東北地方の復興支援を目的としたフェスタは、歩行者天国のマロニエ通りからけやき通りに至るまで会場は人、人、人また人で大盛況でした。また、炭の会に作っていただいた七〇以上の竹製の義援金箱には、多額の義援金が集まりました。災難はいつ身にふりかかるかわかりません。「明日は我が身」と、来年に向けて気を引き締めたいと思います。(渉)

五月八日(日)、まだ東日本大震災の恐怖さめやらぬ中、実行委員会等、慎重審議を重ねた結果、構成団体の皆様をはじめ、行政のご指導、ご協力をいただきまして、無事第二回のフェスタを駅西口公園において開催することができました。開会式では、震災で亡くなられた方々に哀悼の意を込めて黙とうを捧げました。当日は曇らない五月晴れとなり、模擬店



非行防止キャンペーン

7月1日(金)、桶川駅周辺にて非行防止街頭キャンペーンが行われました。市民会議構成団体をはじめ、上尾警察、市職員が参加して青少年の非行防止を訴えました。(加)



11月3日(木・祝)桶川市民まつりにおいて、非行防止キャンペーンが歩行者天国でぎわう中山道で行われました。巡回指導員をはじめ、市民会議構成団体関係者が、風船やリーフレットを手渡ししながら青少年の非行防止を訴えました。(佐)



親子ふれあいウォーク 2011 in 加納

十一月十二日(土)、前日からの雨も上がり、澄みきった快晴の朝、四十四組二〇名を超える参加者が集まりました。

今年、教育委員会前へに花ふるさと館→後谷公園→加納小学校→坂田弁天公園を通り教育委員会前に戻って来る、約九キロのコース。桶川の歴史に関連するクイズを解きながら歩きました。

途中のチェックポイントでは親子で記念写真を撮ったり、縄文人に扮した市の職員から



クイズのヒントをもらったリしながら、土や緑の香りの中、地図を片手に歩を進めました。車道横断の際は、加納小PTAの方々のご協力で安全に歩けました。達成感で充実した明るい表情で、全員が目標時間内にゴールすることができました。

年明けは、川田谷地区で行われます。ぜひ奮ってご参加ください。(吉)



桶川市子ども教室

桶川市子ども教室は、市民会議の事業として現在「桶っ子クラブ」と「あそびっ子」が開催されています。違う学校や学年の子、また地域の方々と知り合えるよい場となり、各教室とも子どもたちの元気な声があふれています。

桶っ子クラブ

桶川集会所(ユニティ)で、ゲーム、工作など毎回違う内容で開催されています。家ではできない遊びや道具の使い方を教えてもらうことができ、子どもだけでなく大人もいつも楽しみにしているようです。

あそびっ子

朝日小学校の校庭や体育館で、ドッジボール、バスケ、バドミントンなど、みんな自由に遊んでいます。男女、他学年一緒はもちろん、親子で、夫婦でと相手も自由です。それぞれ皆、体を動かしている汗がにじんでいます。(藤)



万引きは犯罪！！

—すべての悪のゲートウェイ(入口)—

万引きは悪いことをして悪いことと感じなくなる・・・非行の第一歩です

近年万引きをする青少年が増加しています。市内2店舗にご協力をいただき、万引きの現状についてお話を伺いました。実状は想像以上に深刻なものでした。

ある店長さんは「店の営業に支障をきたすし、本当なら見て見ぬふりをしたい。でも、この子たちの将来を考えると放っておくことはできない。」とおっしゃっていました。大変申し訳なく、かつありがたいと思いました。

物の善悪を教えられるのは親だけだから。しっかりしなきゃ！！

桶川の子どもたちが万引きしているという現実がとてもショックです。

万引きに物申す！自分のものが盗られたらどんな気持ちになりますか。

子は親の心を実演する名優である。

調査場所	A店(スーパー)	B店(ドラッグストア)	
調査内容	万引き件数	桶川店は県内でワースト3に入るほど万引きが多い。	非常に多い。
	多い時間帯	深夜、朝	全時間帯
	万引きをする青少年の特徴	複数で来店し万引きをする。身なり、服装のみだれ。悪気がない。中学生が多いが、小学生もいる。	複数で来店し万引きをする。制服・ジャージで堂々とする。ゲーム感覚。罪の意識がない。中学生が多い。
	お店の対応	まず親を呼び、その後警察を呼ぶ。	即警察を呼び、警察に引き渡す。
	親の対応	きっちり子どもを叱る親もいるが、人のせいにする親、罪の意識がない親もたくさんいる。	無関心な親が多い。謝りにくる親はほとんどいない。

万引きで捕まった子どもは「自分は捕まらないと思った」「お金を払えばすむと思っていた」などと言ってるらしいが、他人のものを盗んだら泥棒なんだよ。

家に帰って子どもの持ち物をチェックしてみます。

親としていざというとき正面から向き合わなければ。

人としてのルールを守らなくては・・・。

子どもの遊びじゃない。れっきとした犯罪だ。

編集後記

万引きは犯罪です

今回のひまわりは、ゲートウェイ犯罪『万引き』について特集しました。どのような感想をもたれましたか。他人や店の物を盗らないのは当然ですが、人の目を盗むことをスリルと勘違いして、罪悪感ではなく、おもしろくて楽しいことにすり替えてしまっているように思います。

(大)

一面で紹介した笹島先生は少年補導員として長く活躍されていました。

「人としてしてはいけないことは人をだますこと、傷つけること、人のものを盗むことの三つ。これをしたとき、親は真剣に子どもを諭さなくてはなりません。」

「ここをすり抜けてしまうと、子どもの行為はエスカレートしていきます。大切な人生を台無しにしてしまうことになるかもしれないのです。まさに、『初めが肝心』なのです。親はもちろん、大人の私たちが「悪いことは悪い」と子どもに教えていきましょ。かけがえない子どもの未来のために。」

(江)